

マイバック と 新しいごみ袋誕生！

プラスチックごみによる海洋汚染や地球温暖化を食い止めるため、国は7月1日より全国一律でプラスチック製買い物袋(いわゆるレジ袋)の有料化を義務づけます。明和町では、7月からのレジ袋有料化を前に、繰り返し使える「マイバック」を各家庭へ配布することと、環境問題に配慮しつつ、レジ袋を町のごみ指定袋として使用できる「環境共通袋」の導入について、検討を重ねました。



【7月1日から
レジ袋は有料です！】

その結果、株式会社ケンゾー(スーパーケンゾー)様にご協力いただくこととなり、今年2月25日にケンゾーさんと「めいわプラスチックスマート協定」を締結しました。

まず、「マイバック」についてですが、ケンゾー様と組むことにより、大量に作成でき、かつ、それを安価で町が購入することができるため、町民の皆様へ(各世帯に1袋)配付することができました。これで町民の皆様が「マイバック」を使用する機会が増え、レジ袋を極力買わないで済むようになれば、環境問題にも配慮ができます。



【買い物かご(左)と今回配布したマイバック(右)】



【買い物かごにすっぽり】



【中には保冷シートが付いています】

さらに、「環境共通袋」の導入についてですが、ケンゾーさんにレジ袋を「環境共通袋」として明和町の全商店で使用できるだけの数を作っていた
だき、それを原価で町に引き渡していただけることになりました。そして、こ
のレジ袋を使用していただけると町内のほかの商店にも原価でお分けしま
す。もし、買い物でレジ袋を買ってしまったら、この「環境共通袋」ならごみ
出しの袋としてご利用いただけます。



この事業は、ケンゾーの木村健造社長の快いご理解があって行えるものでございます。社長には改めまして、心から感謝を申し上げます。

【←買ってしまってもゴミ出し袋に使える環境共通袋(10リットル)】



【2月25日 明和プラスチックスマート協定 締結式にて】
(写真の右から2番目が(株)ケンゾー木村社長)

明和町においては、今までもごみの減量化を推進しており、もったいない館を活用した3R(ごみのリサイクル、リユース、リデュース)にも努めてまいりました。町民の皆様のご協力により、町の一人あたりのごみ排出量は、県内でも低く環境問題への意識の高さが視えます。

町では、これからも環境問題に力を注いでまいりますので、皆様におかれましては、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和2年6月15日

明和町長 富塚もとすけ